

医療安全

参加形式: 必須

指標名: 中心静脈カテーテル挿入時の気胸発生率

定義の要約:

分子) 分母のうち入院後医原性気胸が発生した患者数

分母) 中心静脈カテーテルが挿入された患者数

指標の定義・算出方法:

1. 計測期間において退院した患者を対象とする。
2. 1のうち、EF ファイルより以下の処置が施行された患者を分母とする。
(ア) 130004670 中心静脈注射用カテーテル挿入 G005-2
3. 分母のうち、様式 1 の入院後発症疾患名の ICD10 コード(4 フィールドのいずれか)に S270 が含まれる患者、あるいは入院後発症疾患名(4フィールド)に「気胸」が含まれ、かつ、それに続くICD10コードがT812である患者を分子とする。
(ア) T812 医原性気胸 処置中の不慮の穿刺及び裂傷、他に分類されないもの
(イ) S270 外傷性気胸

式	単位
$(\text{分子} \div \text{分母}) \times 100$	% (パーセント)

その他:

意義:

他施設よりも値が高い施設では、再発予防に向けた安全管理を見直す契機になる。

留意点:

病名の入力精度に値が依存する。

直接関係ない合併症が含まれる可能性がある。

参考資料:

QIP Quality Indicator/Improvement Project 医療の質の指標 <http://qi.med.kyoto-u.ac.jp/>